

年度:2019年 LOM番号:78

【褒賞申請書】

事業名称	ファーマーズ フェア
カテゴリー	優秀LOM地域社会向上プログラム

申請LOM	東北地区岩手ブロック一関青年会議所
LOMの人数	46名
理事長名	畠山 武将
担当者名	清水 善郎
担当者携帯番号	080-3327-0184 担当者E-Mail clearwater2425@gmail.com
事務局住所	岩手県一関市大町4-29 なのはなプラザ4階
事務局TEL	0191-23-8639 事務局FAX 0191-23-6451

本事業の参加者	会員数	27名
	関係者数	13名
	一般参加者数	26名
事業実施に至る背景 400文字程度	岩手県一関市の総農家数は減少の傾向にあり(平成28年度版一関市統計要覧)、農業産出額も減少傾向にあります(一関市農業産出額推移)。その一方で、5ヘクタール以上の経営耕地面積規模別農家数は増加の傾向にあり、農業は規模拡大の方向にあります(経営耕地面積)。過去5年間で24.3%も減少した農業就業人口や平均年齢68.7歳の高齢化。それを補う意味で農業の規模拡大を可能とする農業法人での労働力の確保がこれからの一関で農業を振興していく上での課題となっています。	
事業目的 400文字程度	【対外目的】 ・将来農業経営を目指す方々に現役農業経営者の話を聞いていただくことによりヒントとしていただきます。 ・年間を通じて労働力を求める農業経営者もしくは団体、法人に対し、農業に従事したい個人もしくは団体、法人とのマッチングを行い、農業従事者を増やします。	

	<p>・青年会議所活動を理解していただき、入会につなげます。</p> <p>【対内目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の農業者を知ってもらい、一関における農業の現状を理解してもらいます。</li> <li>・農業に対する支援制度などを理解してもらい、異業種からの農業参入の可能性を検討してもらいます。</li> </ul>
<p><b>SDG'sの該当項目</b></p>	<p>(SDG'sの該当項目を記載)</p> <p>11: 住み続けられるまちづくりを</p>
<p><b>事業概要</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>一関において課題となっている、労働力の確保、農業就業人口の減少、高齢化の対策として求人と求職のマッチングをおこないます。農業にて起業することは経験や経営センス、リスクや信用など多くの課題があることから、農業へのハードルを一つ越えてもらうためにすでに農業を行っている事業者のもとで雇用という形で農業に従事していただきます。これにより、労働力の確保、農業就業人口の増大、若齢化、農業産出額の増加が期待できます。労働力を欲する農業経営者が来場者に向けて自社のPRを行います。その後、構えたブースにて、就農を希望する人に対して就労条件や栽培作物、魅力などを伝えて雇用を促します。就農を希望している人、他産業からの農業に対する新規参入など将来的に独立した農業経営を行っていくための経験期間ともとらえられることにより、全くの農業経験ゼロの人も対象者として広く募集します。農業で実際に食べている農業事業者のお話を聞くことにより、これから農業を始めようとする方々の経営の参考にしていただきます。行政による就農支援制度も学べるブースも設置し、農家として事業をおこしたいと考えている方や、新規参入を考える事業者に対してもアドバイスを行えるようにし、さらなる農業人口確保に向けた事業とします。</p>
<p><b>開催期間・ タイムスケジュール</b></p>	<p>2018年9月22日 土曜日 11:00~17:00</p> <p>11:00 委員会集合:会場外周会場準備</p> <p>12:15 メンバー集合</p> <p>12:30 例会セレモニー</p> <p>13:00 リハーサル</p> <p>13:15 対外参加者受付開始</p> <p>13:30 開会宣言</p> <p>13:35 主催者代表挨拶</p> <p>13:40 趣旨説明 ※説明後 全体写真撮影</p>

	<p>13:45 対外参加者受付開始(就農希望者)</p> <p>14:00 開場 個別面談(ブースにて) アンケート回収(随時)</p> <p>16:00 閉会宣言</p> <p>16:10 片付け開始</p> <p>17:00 解散</p>	
<b>開催場所</b>	<p>なのはなプラザ2階にぎわい創造センター</p> <p>一関市大町4-29</p> <p>電話 0191-21-0818</p>	
<b>事業区分</b>	新規	
<b>公益・共益区分</b>	公益事業	
<b>事業総予算・収支</b>	<p>予算計: ¥116,000-</p> <p>支出計: ¥109,022-</p>	
<b>協力団体</b>	<b>共催</b>	
	<b>協賛</b>	
	<b>後援</b>	<p>岩手県県南広域振興局</p> <p>一関市</p> <p>JAいわて平泉</p> <p>岩手日日新聞社</p> <p>岩手日報社</p>
	<b>その他</b>	<p>外部協力者</p> <p>【農業経営者】</p> <p>有限会社かさい農産様</p> <p>大地と太陽の恵み ちば農園様</p> <p>とんとん山有限会社様</p> <p>有限会社一関ミート様</p> <p>芦農園様</p> <p>株式会社オヤマ様</p> <p>農事組合法人なつかわファーム様</p> <p>【行政】</p> <p>一関市役所(新規就農支援制度説明ブース)</p>
<b>事業対象者</b>	<p>【対外対象者】</p> <p>・年間を通じて労働力を求める農業経営者もしくは団体、法人。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に従事したい個人もしくは団体、法人。</li> <li>・オブザーバー</li> </ul> <p><b>【対内対象者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一関青年会議所メンバー、仮会員</li> </ul>
<p><b>行動</b> <b>(ACTION TAKEN)</b> 400文字程度</p>	<p>(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入) (調査)</p> <p>担当委員会(地域創生委員会)委員長(小野寺伸吾君)が、一関市役所農政課担当者から、一関市の農業の現状と課題について聞き取り、意見を交換した。また、委員会メンバーで、地域の農業従事者への聞き取りを行いました。</p> <p>(立案、会議の流れ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当委員会にて、地域の農業における課題を整理し、解決のための方法を検討しながら、事業を構築していきました。</li> <li>・事業内容について、地域の農業経営者・農業法人および一関市役所農政課に打診し、外部関係者として協力を取り付けました。</li> </ul> <p>(実施活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者(就農希望者)向けのチラシを作成(6500枚)し、市回覧板への折込み(5200枚)、関係各所(ハローワーク、ジョブカフェ、職業訓練校、高校)への配布、プレスリリース、市広報や地域コミュニティFMでの告知を行いました。</li> <li>・関係者と事前打ち合わせ。会場準備。事業実施。</li> </ul> <p>(事業後の活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業法人に参加への御礼状を届けに行った際に、就職希望の問い合わせがあるかについて聞き取り調査。</li> </ul>
<p><b>結果</b> <b>(RESULT)</b></p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>事業目的に達した点:</p> <p><b>【対外】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施後の農業法人への聞き取りで、就農を検討している人が1名、企業との間で就農に向け協議中ということを知りました。また、その人が若手農業者の団体4Hクラブの事業に参加するなど、積極的に一関の農業に関わっていただいていることも知りました。</li> </ul> <p><b>【対内】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対内アンケートの結果、71%のメンバーが一関の農業の課題を知ることができたと回答しました。また、7名のメンバーが農業に取り組みたい気持ちになったと回答しました。</li> </ul>
<p><b>地域社会への影響</b></p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p>

400文字程度	<p>・地域の中で農業に興味を持っている方々に対し、農業法人に就職するという選択肢があると行くことを改めて提示し、地域の重要産業である農業の担い手の確保につながる事業となりました。</p>
<b>LOMへの影響</b>  400文字程度	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>・職業として農業に従事しているメンバーがいない中で、この事業について議論をすることにより、地域の農業の課題と今後の方向性について、より関心を持つきっかけとなりました。また、事業の準備段階で農業経営者や市役所農政課とのつながりが出来たため、今後の運動・活動にプラスになると考えます。</p>
<b>事業の長期的な影響</b>  400文字程度	<p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>・地域の農業という重要課題に取り組んでいることを広報活動などを通じて対外に示したことで、一関青年会議所の地域におけるブランディングに役立つと考えられます。</p>
<b>考察や推奨</b>  400文字程度	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>一般参加者、メンバーなど多くの方にご参加いただき、一関の農業に関心をもっていただけました。LOM 内で、どうすればこの事業がよいものになるか議論を重ねたことが今回の結果につながったと思います。参加企業にはもっと結果につながるような設えを提案できれば、さらに一関に好循環をもたらせたのではないかと考えます。またこの事業をきっかけに、農業分野の青年と一関青年会議所が関係を築けたことは今後の運動に厚みをもたらすことが出来ると考えます。</p>
<b>改善点</b>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>・当日申込なく来られる方が予想以上に多く、受付で用紙が一時期足りなくなりました。もっと余裕をもって準備しておく必要があった。</p>
<b>JCI活動計画の推進</b> <b>JCI VISION活動計画の推進</b> <b>JCI MISSION活動計画の推進</b>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>地域社会が持続していくためのインパクトを達成する事を可能にする。同じ目標に向かうパートナーを結集し、相互インパクトを拡大する。活動を新聞社など多くのメディアに取り上げられる。</p>
<b>添付資料</b>	<p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p>

PDF資料2MB、5ページ以内

(事業風景の写真)



## ファーマーズフェア

一般社団法人一関青年会議所は2018年9月22日土曜日に「ファーマーズフェア」を一関市なのはなプラザ2階にぎわい創造センターにて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

このファーマーズフェアは地域における農業の担い手確保を目的として開催されました。農業への就農希望者が26名参加し、その後の聞き取りで就農を具体的に検討している方がいらしたという結果、目的を達成する事ができました。

### ファーマーズフェアとは？

#### 詳細な事業内容

期日：2018年9月22日

会場：なのはなプラザ2階にぎわい創造センター

#### (事業内容)

雇用を考えている農業経営者や法人が、参加者の就農希望者の方に向けて自社の情報発信を行っていただくフェアです。会場内の各ブースでは、就農を希望する人に対して就労条件や栽培作物、魅力などを伝えて具体的な話をさせていただきました。就農を希望している人、他産業からの農業に対する新規参入など、全くの農業経験ゼロの人も対象者として広く募集しました。農業経営をビジネスとして成り立たせている農業事業者のお話を聞くことにより、これから農業を始めようとする方々の経営の参考にさせていただきました。行政による就農支援制度も学べるブースも設置し、農家として事業をおこしたいと考えている方や、新規参入を考える事業者に対してもアドバイスを行えるようにし、さらなる農業人口確保に向けた事業としました。

写真1



写真2



写真3

